

社会福祉法人 恩賜財団 済生会
済生会熊本福祉センター

障害者多機能型事業所
就労継続支援A型・B型
就労移行支援
済生会かがやき

障害者多機能型事業所
就労継続支援B型
生活介護
済生会ほほえみ

障害者多機能型事業所
就労継続支援A型・B型
済生会ウイズ

- 済生会しらふじ保育園
- 児童発達支援センター
- 済生会なでしこ園
- 済生会グループホーム事業所
- 済生会熊本福祉相談支援センター
- 済生会なでしこ園相談支援事業所
- 熊本県地域生活定着支援センター

園児・利用者・従業員・職員総勢約400名が毎日『すまいるん』で頑張っています!!

基本方針

- ・ライフステージに応じた自立を支援します。
- ・専門性と施設の機能を活かし、地域社会に貢献します。
- ・利用者主体の福祉を実践します。

今年もたくさんの皆様のご来場、ありがとうございました!!



おしらせ

11月13日(木)には厚生労働省内にて山本厚生労働副大臣より挨拶をいただき、その後、皇居にて天皇陛下に拝謁されました。



完成まで1年かかります。



懐かしの保育園でお泊り会

済生会しらふじ保育園

8月22日金曜日に、しらふじ保育園を卒園した第一期生(高校1年生)を呼んでの「10周年記念思い出会(お泊り会)」が行われました。「どれくらい集まってくれるのかな?なんせ今どきの高校生は忙しいみたいだし…部活とか課外とか土日も学校に行くみたいです。」と、初めての同窓会を兼ねたお泊り会に園長始め職員は、ドキドキの一日でした。しかし、一人…二人と顔を見せ始め、平成16年度卒園生21名中、10人の卒園生が集まってくれました。みんな、職員と同じしらふじTシャツを着てバーベキューをしながらの、思い出話。子どもたちの成長を見ながら10年という年月を感じた夜でした。そしてバーベキューの後は男の子6名が保育園に泊まりました。

園長先生、10年前のみんなを知っている職員も一緒にワイワイと、話に花が咲き、職員の方が早く寝てしまうくらい元気な一期生でした。



翌朝は、登園してきた3・4・5歳児の子どもたちと一緒に遊んだり、着替えの手伝いまでしてくれました。卒園生は「とっても楽しかった。懐かしかった!」と保育園に、うれしい感想を残して帰っていきました。



10年ぶりに会った子どもたちは、すっかりお兄さん・お姉さんになっていましたが、笑顔はあの頃のままだ。思い出したときにいつでも帰ってこられる、笑顔で迎えられる、そんな保育園でありたいと思いました。

九州地区球技大会

内田施設



9月27日・28日に『第32回九州地区知的障害者施設親善球技大会』が鹿児島県で開催され、内田の3施設から16名の選手が初参加しました。

開会式に続き、前夜祭(夕食会)が行われ、九州圏内より集まった20施設総勢330名の選手・職員と一緒にステージのアトラクションに参加して、ダンスを踊ったり、美味しい料理をたくさん食べて、

笑顔で楽しいひと時を過ごしました。出場種目は、ティーボール(この球技はピッチャーがおらず、バッターの前に置いたT型の台の上に載せたボールを打ち、あとは野球の要領で点を取ります)とグラウンドゴルフの2種目があり、ティーボール競技に参加しました。

初めてこの球技をした選手の皆さんですが、あっという間に台に載せてあるボールをポンポン打つコツをつかみ、少ない練習時間ではありましたが、試合当日は素晴らしいチームワークを発揮され、なんと見事優勝することができました!



9/28 地鎮祭

済生会なでしこ園

昭和54年に建設された現施設は、当初は軽度の障がい児を想定していたこと等もあり、途中で車イスのお子さん等に対応する改築工事なされてきたものの、34年の歳月による老朽化は如何ともしがたく、念願の“建て替え”が、皆様のおかげで実現することとなりました。

9月の吉日に、関係者が集い、工事の無事を祈って厳かに地鎮祭が執り行われました。同敷地内での工事の為、3期に亘る工事は、1年という長い期間を要することとなりますが、完成後の事業展開も計画しつつ、素晴らしい施設の完成を関係者一同楽しみにしています。



完成予想図/しらふじ保育園側上空から

ぱんだ組



済生会なでしこ園

秋になり、なでしこ園の園庭にもトンボがたくさんやってきています。トンボを夢中で追いかける子ども達の目はきらきらと輝いています。9月の製作では、画用紙を使ってトンボを作りました。トンボの羽の模様は、子ども達が好きな色を選んでデカルコマニーという方法で色付けをしました。画用紙の片側に絵の具をたらし、それを半分に折って開くと絵の具が思わぬ表情になります。子ども達は、混ざった絵具の色の変化や絵の具が広がった形を見て何を感じたのでしょうか。



平成26年度 パン体験教室

済生会ほほえみ



7/25・8/8・8/29と3日間にわたり、パン工房ふわりでは特別支援学校の生徒さんとご家族を対象にした「パン体験教室」を開催しました。今年は29名が参加され、あんぱん、クリームぱん、チョコぱんやクッキーを作りました。小麦粉を手につけ生地をやさしく丸めたり、クッキーの型押しをしたりと、ご家族、生徒さんのワイワイたのしい声が響きました。出来立てのパンは、香ばしいいい匂いがして、皆さんすぐにも食べたい様子でした。



手作りソーメン流し!!

済生会かがやき

8月30日、手作りのソーメン流しをしました。

DIYが得意な職員と一緒に利用者さんもペットボトルを切ってつなげ、カーブを作って、5m程の長さになりました! 皆さん、ソーメンをすくうのがとても上手でおいしそうに食べていました。



発行所
済生会熊本福祉センター
発行責任者 道端 由美子
編集 地域・広報委員会
熊本市南区内田町3560-1
TEL 096-223-3330
FAX 096-223-3429
http://www.sk-fukushi.jp/